

2018 年度 第 1 回附属校・提携校 New Treasure 研究会

附属校・提携校 New Treasure 研究会、附属校教育研究・研修センター

2018 年 10 月 27 日（土）15 時～17 時朱雀キャンパスにおいて、2018 年度第 1 回 NewTreasure 研究会（NTS 研究会）を開催した。出席者は長岡京 1 名、宇治 2 名、慶祥 1 名、守山 2 名、初芝立命館 1 名、計 7 名であった。

《研究会の内容》

① 7/30-31 の附属校英語合宿について報告

- ・ 全附属校より 77 名が参加
- ・ リピーターも多いため、毎年内容を変えていく必要がある。3 パターンほどの内容を回していけるように活動内容の検討が必要
- ・ 慶祥生徒のみ前後いずれかに京都観光を入れたい。また枠を増やすことは可能か？
- ・ 合宿を通じて運営に参加するネイティブが必要
- ・ 留学生への意識づけとゴール設定が重要



② ディスカッション（授業実践・教材の共有）

どうコミユニカティブな活動につなげているか各校からの報告とそれを元に意見交換を行った。
守山より

- ・ Pre-Activity→文法導入→Activity
- ・ Activity では会話の進め方も提示。何を定着させたいかを意識した活動
- ・ Read が活動に繋げにくい題材もあり困っている
- ・ 長文なのでスラッシュリーディングも導入している
- ・ 1 対 1 の Performance Test を実施している

宇治より

- ・ ゆっくり進めることを検討
- ・ 思い切って「捨てる」ことも必要
- ・ スピーキング活動に走りがちだが文構造理解できない生徒には Pattern Practice も大切

初芝立命館より

- ・ 英語への苦手意識の強い生徒へのアプローチ方法どうすれば良いか→成功体験の必要性

慶祥より

- ・ 高 1 NTStage 4 まで使用
- ・ Reading 教材で Retelling 活動したり、グループ内で異なる語彙を抜いた教材を用いることでインフォメーションギャップを生み、英語でのやり取りを行なっている
- ・ 英語は覚える教科にしない工夫が大切

長岡京より

- ・ Grammar を指導後 Talk and talk を用いて生徒に状況をイメージさせる

その他多読の取り組みやオンライン英会話、海外研修など幅広く情報交換した。

③ 次回に向けて

New Treasure 改訂に向けて附属校からの意見集約会を行いたい

次回の日程： 12 月頃できれば実施したい。

（記録 立命館守山中高 松尾由紀、編集 附属校教育研究・研修センター 羽田澄）